



槌音高らかに 蓬中原頭に響く
 二億の学舎 生れんとす
 未来を拓く 美少年
 未来を生む 美少女
 パイルの槌音 澄きった瞳輝く
 新しき時代に向ふ若人讃歌に合せて



村史発刊記念式典
 七月七日中央公民館於

蓬田村公民館報
 (蓬 門) 第86号
 発行所
 青森県東津軽郡
 蓬田村公民館
 印刷所
 ㈱新印刷興業

＜世帯と人口＞

世帯数	
人口	男
	女
計	
	(48. 7.1現在)

「蓬門」原稿募集
 「蓬門」の原稿を募集いたします。
 どんな事でもよいです。原稿を送って下さい。

原稿送付先
 蓬田村教育委員会

村民待望の村史発刊され、その記念式典が七月七日挙げられた。来ひんは議会議員外村有志が参加村長式辞があり、村史編さん委員全員に感謝状及記念品が贈り、柿崎議長、田中教育長の祝辞があり、編さん委員を代表し、吉田清助翁が御礼のことばをのべた。

本日村史発刊に当りかくも盛大に式典を挙げ、あまりにも長い年月を費し、村民に迷惑をかけたにもかかわらず感謝状をお贈り下され心から感謝申し上げます。

更に編さん課程の中で清水専造、高田平之助両君を亡くしたことは誠に心苦しく思っております。阿君も今日の行事を草葉の蔭から喜んでおることと思えます。

これからの老骨をひっさげて余生のある限りなにかとお役にたちたいと思っております。本日はほんとうに有難うございます。

感謝状贈呈者
 編さん委員
 福さん 版印刷
 編さん委員

故

- 坂加森飯八久高青松吉看
- 本藤 田幡慈田水本田出倉
- 豊喜初岩邦晋平専倉清弥
- 代作男吉雄郎助造郎助長

高令者学級開講式

中央公民館に於いて



従って人情の美德も消え、老人に冷く、又生活の変化により老人の仕事もなく、淋しい日々となるので自殺者の数も増えてきている。

老人がなにかと趣味や園芸等のグループを造り学級に出て多くの人々と話合をして余生を楽しく暮すことによつて老人の役割が生れ、希望と生がいを感じるようになる。それらに

よつて人間関係を深めて行くことが高令者学級開設の趣旨である。

本年七月一日から戸籍手数料が改正になります

戸籍手数料令の改正が六月十五日公布、七月一日から施行されることになったので、同日から戸籍手数料一件につき「五〇円」が「七〇円」に、受理証明書手数料「四〇〇円」が「五〇〇円」になりましたのでお知らせいたします。

マイホームと税金

今回は、マイホームづくりに関係のある税金について説明します。

一、登録免許税

土地や家屋を取得したときの所有権の登記にかかる税金で、その取得した土地や家屋の価格の〇・一％(一定条件の場合)から五％までの税金がかかります。

二、不動産取得税(都道府県税)

土地や家屋を取得したとき、その価格の三％の税金がかかります。

三、住宅取得控除

新しい家屋を取得したときは、三年間にわたり、毎年、最高二万円までの税金が控除されます。

の納税をする月です。

納税額は、前年分の所得金額を基として計算したものが、六月中旬に税務署から通知されますのでこの金額を七月二日から七月三十一日まで納めることになっています。

この納税の際には、電話料やNHKの受信料の払い込みと同じように預金口座から自動的に支払われる振替納税制度を利用されますと、手数料がかからず便利です。

警察からのお願い

一、「命を大切にしよう」運動の実施について

警察では事故のない明るく安全な環境をつくるため「命を大切にしよう」運動をすすめております。

昭和四十八年一月より七月十日

三、家出人相談所の開設

所得税第一期分の納税は七月三十一日までです

七月は所得税の予定納税第一期分

現在まで各種事故で死んだ人は一三八人(県内)もあります。

◎かけがえない「命」を粗末にしてはいけません。

「運動の目標」

一、交通事故の防止

二輪車に乗るときは必ずヘルメットをかぶりましょう。

車と酒の関係を断ちきり正しい運転を。

子供と老人をいたわり愛の一声運動を。

二、水難事故の防止

溜池、沼、用水堰など危険な所には安全柵を。

危険な水遊びはやめ、水泳はきまった場所で行いましょう。

三、山の遭難事故防止

山に入るときは二人以上で。

コース、帰宅時間を知らせ無理しないこと。

四、その他各種事故防止

一人暮らしの老人はみんなでいたわりましょう。

火の元によく注意しましょう

プロパンガスの点検は定期的に行い。

蓬田中学校 新築起工式



警察では、家出人や、ゆくえのわからない人たちを一日も早く発見し、家族の方々に安心していただきたいと考え、八月一日から三十一日までの一ヶ月間警察署に家出人と身元不明者の相談所を開設しました。

身元不明者の記録や写真を準備していただきますので、お心あたりの方は警察においで下さるようお願いしています。

六月二十六日 蓬田新築起工式を蓬田現場において行なわれた。

祭司田川神官がおそかに祭祀をとり行い、村長式辞莊厳裡に起礎がためを終った。

婦人学級開講式

四十八年度蓬田婦人学級開講式を去る六月二十日中央公民館において開かれた。

坂本公民館長、開講に当り婦人学級を開く主旨のあいさつ。田中教育長告辞、講師として県社教主事小寺先生の講演があった。

婦人の役割と時代の変化に伴いその内容も変ってきた。

婦人地位の確立、妻として、母として、家庭の主婦として如何に対応してゆくか今後の問題が沢山ある。特にこれからの一生を如何に送るか人生八十才として、残り時間を考へながら設計を立てることも大事である。

過去サシスセソ婦人からカキクケコ婦人になるときがきている。

祝祭日に国旗掲揚運動に協力方について

祝祭日は国の法律の定むるところで、国民等しく休みお祝する日であることは申すまでもなく、国民一人も洩れなくとは申せ、職種により休めない者も相当あり祝日に休めぬ者は休日給、若しくは代休を振替し救済してをるような意義あるものであります。

然るに近頃その祝祭日に国旗を立て

る家庭は実に少なく、国民の祝祭日の認識の低下を叫ばれておる今日、公民館として村民全家庭が祝祭日に国旗を立てる運動を起すことになりました。

何卒協力方お願い申し上げます。国旗、竿のない方はあつせん致します。

公民館事務局(教育委員会)に申込んで下さい。一かつ村商工会に注文お届け致します。

大 一、〇〇〇 一捕 (旗、竿、玉)

待望の村史発行なる

約十ヶ年余の年月を以て脱稿した蓬田村史が去る六月末製本が完了五〇〇部完納になり、前後二回にわたり予約者には配本済みですが、都合で今だ予約しておらない方でも現在庫数が残っておりますから蓬田村民館(事務局教育委員会)に申込お買求め下さい。

本年末になると残部がないとも予想されますから早めにお求め下さい。限定版ですから再版の可能性がありません。念のため申添えておきます。

豊水放談

横 座

娘いたかと窓から見れば
親父横座で纏なてた
親父その纏なんさ使らだバ
道楽娘バすばる纏

(津軽民謡)

▲横座、広幹林取、上座、正座、炬の正面主人の座るところ。江戸時代の勘定奉行の監視役である勘定吟味役の異称。江戸時代からの横座ははつきりしているが、それ以前古代から使われたとも思われるが、発祥年代考は次にする。

▲横座、権位の座であることには間違ない。近頃生活様式の変化に伴い家屋の新築、改造と更にエネルギー源によって炬のない家が多くなつた。従つて横座なるものがどこか主人がどこに座つておるのかも判らなくなつた。

▲横座の反対側は木しり間「木尻座」と云つてその一家の下の者の座るところとなつておる。

オジ(弟)と猫は木尻間。オジと嫁は木尻間、オジと猫は間(作業場の二階)、オジと猫はあてげ扶持喰つてればよい。

このように長男と弟ですらはつきり區別された時代もあった。

ましてや親父と他の者には絶対的差が構成されており、一家の序列は

定まつておつた。

▲横座即ち権位の座とも読替られる。子供の頃横座で遊んでいても家の廻りに親父の姿をみえると横座をはづして他に移つたものである。その時代は誰れしもが経験して育つてきた筈である。

▲横座、一家を支配する座であつたし、指令の座でもあつた。

横座に座つても馬が草を喰つているか、その行動はすぐ見えるように農家の構造が出来てあつた。「こら馬が草喰つておらん、草やつてこい」すぐ指令が出される。

馬は一家の家族同様で、馬のよし悪しでその家の農作業が占めることが出来た。津軽の農家の構造も横座から木戸口が見えるのも、南部の曲り家も同じく、長年の生活の中から生れたものである。

その頃上方から来る薬売りや、物売りが津軽に行くとも馬も人も同じところ暮らししていると笑つたものである。子供心にも抵抗を感じたものである。

▲横座の権位も親父族にも信頼をしたものである。

近頃の親父族は横座も自らの権位も放棄してゐる。

親父族とは？曰く、横座偏にあぐら正解であるかは別としても、一家を守り、一家をしめくくするため様々なこともおこる。

父族でなくてはならない。それを逃避するから一家がおかしなものになる。勢い女上位になる新日本語が生れる。

▲女上位、親父族にも絶対責任あることである。主たる要因は、面倒なことに腰を上げない親父。難問題を解明しない親父、挙げるときりがない。しびれを切らして女房族が出る元々女房族は外のこと口を出さず内を守るような性格的になつていく。

やむなく出る。その繰り返しが長い年月の中に女上位とならざるを得ない。よつて家の親父が甲斐性が無い。ぐうだら、弱い、頼りにならない。具駐めく(愚痴)子供の耳に入る。子供が親父を信頼しなくなる。

▲「父さん、誰々が近頃私のことなんかにもきかず、勉強もしないし、なんか悪いことでもしているみたいで、反抗期なんか知らんけれども、父さん一度きつく叱つて……」。

子供のことは教育でもなんでもお前にまかせているではないか位で知らぬが半兵衛面、よしんば叱つてみたとして、中学生の頃になると、「なにに家の親父なんか叱つて、怒つたてこわいものか。毎日母さんの尻に敷かれているくせに……」。と庇の河童、日頃信頼度失つていいるから彼等の方程式でチャーンと計算されておる。

母さんは日頃きびしいが、母親としてもやさしさがあつて差程こわいものでもない。それも彼等の胸の中で計算づくめだ。



これが問題であって、日頃夫婦間の行動の中から生じる源である。子供を云々する前に、夫婦の日常の在り方を反省しなくてはならない。子は親の鏡で育つと古来から云れておる所以もここにある。

もたもたしている道楽娘をしぼる繩で親家族がしばられる破目にもなりかねない。主客顛倒もいところだ。

▲子供にとって父母は車の両輪で、どっちに傾いてもならない。然し親家族は車の握取りであらねばならない。

時にはドブに落ちるときもあろう。落ちたら引き上げ正常にもどす勇氣と反省が必要である。親家族は単に横座に座る人形であってはならない。

親家族の一挙手一投足はプラス、マイナスと子供に与える筈となって表れるのである。

▲強い後継者造りは親家族にあると云つても過言でない。

強いと云うことは正常な格調の高いことを指すのであつて、様々なものがあるがスペースの都合でこの稿はこれでおく。

今、目を陥さんとしている爺さまの廻りに集つた子供たちが、

「爺さま、今まで苦労かけたし、なんでも欲しいものがあつたら云い。なんでもやるし、どんなことでもしてやるからまだ死ぬな……」。

「……なんも欲しくない。横座で位碑もち(後継者)のあぐらの中で死にたい……」。

このようにして爺さまをあぐらの中



で大往生した人のあつたこともきいてる。今や捨てられ、失なわれようとしている。

横座から逃避し、親をも粗末にする風習があたりまえのようになる世中になることを空恐ろしい感に打たれる。

もつと原点に還るべきである。

親を大事にする人こそ私は最も尊重するし、最大の信頼をする者の一人である。

横座を理解する者は、親家族たる理解を深める所以であらう。

「せがれのあぐらの中で死にたい」時代が變つてゆく、然しこの心情も変わるだろうか。

(一九七三、五、一五)

村民野球大会

六月二十四日(日曜日)に全部落が参加して行なわれた村民野球大会は、村民のあたたかい応援により予選から決勝戦まで手にあせをにぎる



昭和四十八年度成人式

八月十五日午前九時三〇分
玉松公民館に於て開く

来る八月十五日、今年成人になる青年男女を一同に会し成人式を挙げることになつた。

成人になる人々に公民館で通知をする。若しなにかの手違いから通知書が届かない人があつたらどなたでも遠慮なく公民館事務局に申入れて下さい。

今年成人なる蓬田村の人員(住民登録による)九一名である。

他の市町村に登録されておる人、お盆であるので帰省している人も遠慮なく出席して下さい。

当日の講師は平内町公民館長田沢康三郎先生を予定しております。

県民体育大会(野球郡大会)

念願の優勝成る

七月二十二日(日曜日)三厩小学校グラウンドで行なわれた。

蓬田村、平館村、三厩村の三村で熱戦がくりひろげられ、一回戦常勝三厩村対この頃めつきり力をつけて来た平館村の試合は、つねにおしぎみに試合を進めていた平館村が最後サヨナラ勝ちで、決勝戦に進みました。

- 一位 中沢部落
- 二位 阿弥陀川部落
- 三位 郷沢部落
- 三位 長科部落

決勝戦は、一回戦シードのわが村と平館村ですが、投打ともに勝るわが村は、一回目から、早くも三点をもぎとり、そして、すかさず追加点



を加えて前半戦で勝負を決めた感じでした。

守つても、武井投手がガツチリ平館打戦をおさえ、すきをあたえませんでした。

結局六対二で平館をやぶり八月二十五日、二十六日に十和田市で行なわれる県大会に出場が決まりました。

県大会でも、ぜひ優勝をねらい頑張りたいと思います。

第十四回村民体育大会開く

村民待望の村民体育大会を来る八月十九日午前九時三〇分より総合グラウンドに於て、盛り沢山のプログラムを以て開くことになつた。

老も若きも競つて参加して下さい。